

実施の手引き

1. 団体申込後の事前準備・確認

(1) 実地踏査（下見）・打合せ <予約制>

体験申込以降、体験当日の前月上旬までに、必ず実地踏査及び園担当者との打合せを必ずお済ませください。

※打合せは予約制です。長期休暇期間中は大変混み合いますので、お早目にご予定ください。

※所要時間や内容等は、実施要項「9. 実地踏査（下見）・打合せのお願い」でご確認ください。

(2) 減免申請書の準備・返送

引率の教職員の入園料は免除となります。実施日2週間前までに、減免申請の手続きを行ってください。但し、付き添いの保護者やカメラマンは、免除の対象となりません。

※打合せ後、体験前月の中旬に、FAX. で様式を送付します。必要事項の記入・学校印押印後に、写しをFAX. でご返送願います。原本は体験当日ご提出ください。

(3) 団体バス利用での来園の場合

たてもの園専用の駐車場はございません。小金井公園内の第一駐車場（有料）をご利用ください。

（問合せ先：小金井公園 第一駐車場 TEL. 042-384-2093）

(4) 班編成

事前に、1組あたり4班に編成してください。

1班あたり8名程度の編成を基準とし、人数はなるべく均等になるように編成してください。

1班の人数は、最大10名までとさせていただきます。

※10名を超える班の体験時には、班毎に教職員1名以上の付き添いをお願いします。

(5) 学校での事前学習

体験時間は各30分と限られており、石臼や囲炉裏・火鉢を使ったくらしにまでは深く触れることができません。

興味を持って参加し、より意義のある体験になるよう、各学校にて事前学習をお願いします。

(6) 児童への注意事項・服装の周知

園内の見学に際しての注意事項は、実施要項「12. 見学に際してのお願い」を参照の上、事前に学校でご指導願います。

手引き「3. 体験当日の服装」を確認し、事前に児童(保護者)にご周知願います。

2. 体験当日の持ち物

(1) 教職員が持参するもの

①減免申請書（原本）（入園時）

前月に FAX. でご返送済みの「減免申請書」原本をご持参の上、受付(インフォメーション)にご提出ください。

②お米：1班につき2合（石臼体験用）

体験場所（綱島家と吉野家）に到着後、各棟に付き添う教職員から担当ボランティアにお渡しください。

※お米を児童個々に持たせることは、時間のロスになります。

③ビニル袋：1班につき2枚（石臼体験用）

ご持参いただいたお米（2合）は体験時間内では全て挽き終わらないため、細かい粉と粗い粒に分けてお渡しします。お持ち帰り用のビニル袋をご用意ください。

※お米を入れてきた袋は破損して使用できない場合があるため、別途ご注意ください。

※班毎にお渡しします。まとめたり、分けたりする場合は、学校に戻られてからお願いします

※体験済みの米粉は衛生上の理由から、口には入れないでください。

(2) 児童が持参するもの

見学のしおりや昼食など見学に必要なものは、学校もしくは児童各自でご持参ください。

※園内には時計がございませんので、班・グループ見学などに必要な際は、腕時計など時間が確認できるものをご持参ください。また、昼食を屋外でとる時に必要なレジャーシートなども各自ご用意ください。

3. 体験当日の服装

体験中にケガやヤケドなどしないよう、当日の服装には十分なお配慮をお願いします。

万が一、ケガやヤケドをした場合は、各学校にご対応をお願いしております。

(1) 動きやすく・寒くない服装

長袖・長ズボンの着用。（肌の露出をなるべく避け、外套などの上着を脱いでもできるだけ寒くないような服装）

※紐やリボン等の装飾が付いたものは避け、長髪の児童は体験時には髪を後ろにまとめてください。

(2) 燃えにくい素材

化学繊維素材のものは避け、できるだけ木綿素材のものを着用。

※化学繊維(ナイロンやポリエステル等)素材の上着(ダウンジャケット、フリース、ウィンドブレーカー等)着用の場合は、火おこし体験の際には脱いでいただいています。

(3) 脱ぎ履きしやすい靴

火おこし体験時には、靴を脱いで建物の床上に上がります。

(4) その他

アレルギー症状(穀類・ハウスダスト等)やぜんそくのある児童の場合は、保護者の方にご説明・ご相談いただき、了解を得てください。

くん煙は、独特なニオイや煙が発生しますので、必要な場合はマスク等をご持参ください。

4. 体験当日のながれ

① 到着

入園手続き完了までは、たてもの園前広場にて、全員で待機してください。

② 入園の手続き <9:30以降>

正面入口・インフォメーションにて、代表者(引率教員のうちどなたか)が入園手続きをしてください。

事前に引率者の入園料免除を希望している場合は「減免申請書」をご提出ください。

※引率者は、名札の着用をお願いします。(インフォメーション貸し出し)

③ 入園

入園の手続きをお済ませになり、順次入園してください。

入園後はお手洗い等を済ませ、エントランス広場(雨天時等はビジターセンター)で待機してください。

元気よく挨拶しましょう！
建物は大切に扱きましょう！
お話をよく聞いて、ケガや
ヤケドに注意しましょう！



※他の来園者の通行の妨げとならないよう、ご配慮ください。

※諸注意後、速やかに移動できるよう各組・各班に分かれて整列してください。

④ 集合・諸注意 <体験開始15分前>

学芸員による諸注意(体験に関する注意事項)を受けます。

※学年全員そろっての諸注意となります。

★園内の見学に際しての注意事項は、事前に学校でご指導ください。
(実施要項「12. 見学に際してのお願い」参照)



吉野家に行くよ！

わたし達は綱島家！



⑤ 民家に移動 <体験開始10分前>

諸注意終了後、最初に体験する組はそのまま移動します。

★体験中は、1棟に職員1名以上が必ず付き添ってください。

(10名超の場合は班に1名)

※1組4班のうち・・・吉野家(2班+教職員1名)へ

・・・綱島家(2班+教職員1名)へ

★体験以外の他の学級は、園内見学後の体験となります。

移動時間をご配慮の上、体験前にはお手洗いを済ませ、体験開始時刻の5分前には各建物前に集合してください。

※園内移動や体験時の民家内での交代時の誘導は、付き添いの教職員にお願いしております。

おはようございます！
よろしくお願いします！



⑥ 到着・はじまりの挨拶・荷物を置く <体験開始5分前>

到着したら班ごとに整列し、たてもの園ボランティアに挨拶をし、荷物や上着を全て置きます。

★荷物は、指示された場所(縁側や縁台)に端から順に置き、置いたら速やかに元に戻り整列してください。

★体験時は、手には何も持たないでください。

★付き添いの教職員は、石臼体験用のお米とビニル袋を、担当ボランティアに渡してください。

次は、いよいよ体験開始です。

担当ボランティアの案内に従い、班ごとに並んで順番に民家の中に入ります。

⑦体験開始 <10:30以降>

- ★担当ボランティアの説明をよく聞いて、ケガやヤケドに注意しましょう。
- ★体験毎に、はじまり・おわりの挨拶を元気よくしましょう。
- ★土間（石臼）と床上（火おこし）の2か所で実施しますので、付き添いの教職員は、いずれの体験にもご留意願います。
- ★体験の入れ替え（30分）時は交代誘導にご協力願います。

民家に入る・あがる時のお願い

- ①敷居を踏まない(またぐ)。
- ②床上にあがる時は、順番に。
- ③脱ぎ履きの最中、靴下で土間におりない。
- ④脱いだ靴はきちんと揃える。
- ⑤次の人があがりやすいように、寄せる。

石臼体験 石臼でお米を粉にします。

土間に置いてある石臼を使用します。



お米をひいたら何になるかな？

石臼の構造や役割などの説明。
石臼にお米を入れ、2合のお米を粉にします。

どっち回し？
重いかな？



体験者以外は
一歩さがる!!

音がするよ！
粉が出てきた！

一人ずつ順番に石臼を回します。

火おこし体験 火鉢に火をおこします。

靴を脱いで、床上に上がり囲炉裏の周りに座ります。



ヤケドに注意!!

囲炉裏や住まいの説明。道具の名称など。
囲炉裏から火のついた炭(オキ)をとります。



あたたかいね！

火鉢で使用する道具の説明と体験。囲炉裏から取り出したオキを火鉢に移し、木炭に火をおこします。

班のみんなで協力！



石臼の周りが出てきた粉を集めます。

昔の人は大変だったんだね



道具を使って灰をきれいにします。



雪みたいだね！

集めた粉をふるいにかけて、選り分けます。
(時間がある場合は再び石臼でひきます。)



消えているかな？

炭を火消し壺に入れて消火します。

★2つの体験（計60分）が行った後、おわりの挨拶をして終了します。次の組と入れ替わります。

⑧体験終了後・おわりの挨拶

班毎に整列し、体験指導を担当したボランティアと、民家の前でおわりの挨拶をします。
縁台や縁側に置いた荷物や上着を持ちます。
※終了後すぐに次の組の体験がある場合は、入れ替わりの際、大変混雑します。次の組は、速やかに入れ替わりができるよう、体験をはじめる準備をしてお待ちください。

□見学シートのご案内

江戸東京たてもの園ホームページでは、見学シート〈暮らしの100年たんけん地図〉を掲載しています。

小学校3年生の社会科「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」を学ぶ授業で、ご利用いただける内容です。（ダウンロード可）

<http://www.tatemonoen.jp/> >お問い合わせ・各種お申し込み >学校の先生方へ >小学生向け見学シート

江戸東京たてもの園の「暮らしの100年」たんけん地図!!

① インフォメーション ② 喫煙所
③ トイレ ④ 電話
⑤ ベンチシート ⑥ 貸衣装自動販売機付です。
⑦ 車イス昇降梯 ⑧ 車イス昇降梯付のトイレ付です。

「だいでこ」
「べんじょ」
はどこかな?

地図のA～Jの建物の中から、指今の場所がどこにあるのか、さがしてみよう!

だいでこ
むかしは、すかばいといって、だいでこを巻くだけで使われていました。その巻、いまとほとんど変わって作業ができる話しが聞かれるようになりました。

おふろ
たてもの館の中には、おふろがついていない家も多いです。おふろがない家のおお入りにしてみたいと思いませんか。

べんじょ
むかしは、べんじょは、掘りこいたことをかたみよです。し尿は、ためておいて、肥料に使われることもありました。水道が引かれると、水汲みはなくなりました。

いろいろな時代の
だいでこ おふろ べんじょ

を見つけたことができたかな?
みんなの家とどこが違うのか、考えてみよう。

なにでできているかな?
木、金属、土、ガラス、プラスチック

水はどうなっている?

何が燃えている?
電気、石油、ガス、薪、炭

ほかに、気づいたことはあるかな?

〔江戸東京たてもの園にふるまう時の100年たんけん地図〕
発行日 2012年(平成24)11月17日
編集・発行 民間財団 江戸東京たてもの園
監修 株式会社大井

問合せ先

江戸東京たてもの園 昔くらし体験担当

住所：小金井市桜町三丁目7番1号（都立小金井公園内）

TEL. 042-388-3300(代) FAX. 042-388-1711

開園時間：(4月～9月)9:30～17:30、(10月～3月)9:30～16:30

休園日：毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は、その翌日)、年末年始